

意見交換の論点

論点 1

子どもたちのよりよい人間関係を築く力を、
どのように育んでいくべきか。

【参考】

- ・ 児童生徒の間で人間関係が固定化されることなく、対等で自由な人間関係が築かれるようにする〔新井教授講演資料 P 4 8〕
- ・ 児童生徒の豊かな情操や道徳心、自分の存在と他人の存在を等しく認め、お互いの人格を尊重し合える態度など、心の通う人間関係を構築する能力の素地を養うことが必要である〔いじめ防止等のための基本的な方針（文科省） P 6〕
- ・ 全ての児童生徒が自分が必要とされる存在であると感じ、互いの違いを認め合い、支え合うことができるような取組を進めることで、学校の内外を問わず、いじめが行われなくなるようにします〔北海道いじめ防止基本方針改定素案 P 1〕

論点 2

地域はいじめ防止に、どのように関わるべきか。

【参考】

- ・ 教師と保護者、地域・関係機関が子どもをめぐって協力し合う→「パートナー」としての関係を築く〔新井教授講演資料 P 2 3〕
- ・ 社会に開かれたチームとしての学校〔同 P 2 4〕
- ・ いじめの防止等のための対策を進めるため、全ての児童生徒の自己有用感や自己肯定感を育成する取組を、学校だけでなく、家庭、地域住民、行政その他の関係者相互の連携協力の下、社会全体で進めます〔北海道いじめ防止基本方針改定素案 P 5〕